

令和7年度瑞穂区区政運営方針(案)に対する 意見の概要及び意見に対する考え方について

【意見の概要】

- ・将来ビジョン、基本理念、取り組み事項、担当部署、現状、目標値がわかりやすく展開されており、実行実現が期待される立派な内容だと思う。
- ・12月ごろに実施状況を区長に報告する機会があると良いと思う。担当部署ごとに1～2つの重要項目について進行状況を報告すれば、現状を認識することができ、次年度の方針への改善の反映がしっかりできると思う。

【意見に対する考え方】（企画経理課）

- ・ご期待にお応えできるよう、将来ビジョン及び区政運営方針に基づきながら着実に区政運営を進めてまいります。
- ・次年度の予算要求に関わるような取組については、夏頃に今年度の実績とともに内容を精査し、次年度の予算要求や区政運営方針に活かしております。また、各取組にかかる進捗状況についても、適宜区長へ報告を行っております。

【意見の概要】

- ・「地区防災カルテを活用した防災活動の推進」について、地元企業との連携等を図る項目が必要ではないか。

【意見に対する考え方】（総務課）

貴重なご意見ありがとうございます。

名古屋市では、大規模災害時における地域との支援協力に係る覚書等を締結した事業所として、防災に関して地域貢献している事業所であることを示す「地域防災協力事業所表示制度」があります。

また、地区防災カルテをもとに、地域の皆さまと区役所、消防署等とで、地域の防災活動に関する話し合いを行い、災害リスクや発災時の適切な避難行動、指定避難所等に関する情報をまとめた「避難行動マップ」には上記協力事業所を掲載しております。

今回いただいた「地元企業との連携等」について、消防署をはじめとした関係部署とともに、災害に強いまちづくりを進めていくことができるよう取り組んでまいります。

【意見の概要】

- ・「食品ロスの削減」について、活動のやりがいや、達成感、維持向上のために、具体的な数値目標が必要ではないか。
- ・「家庭系ごみの分別推進」について、現状でゴミ出しルールが守られていない地域・地点を重点的に対策してはどうか。

【意見に対する考え方】（環境事業所）

- ・食品ロスの削減については、名古屋市第6次一般廃棄物処理基本計画（令和6年3月策定）において、市内の食品ロス発生量を令和12年度までに令和4年度比5%削減する目標を設定しており、瑞穂区においても食品ロス削減に向けた取り組みを推進してまいります。
- ・家庭系ごみの分別推進については、ターゲットに応じた効果的な広報を展開するとともに、分別推進員等による適正排出の周知を行ってまいります。

【意見の概要】

- ・災害時におけるペットの避難方法やペットの避難用の備蓄品などについて、飼い主がよく理解していないと思う。ペット同伴で防災訓練も開催しているようだが、知らない飼い主もいるのではないか。災害時のペットの避難対策に取り組んでいただきたい。

【意見に対する考え方】（健康安全課）

名古屋市では、原則として市立小中学校がペットと同行避難可能な指定避難所となっています。一方で、ペットの飼い主にペットの避難方法やペットのための災害時備蓄などについて十分に知られておらず、より一層のペット防災の周知啓発が必要であると考えております。

瑞穂区では、令和6年度、狂犬病予防集合注射、商業施設での企画展示及び愛犬クイズラリーの各会場において、災害時のペットの避難について普及啓発を行いました。

いただいたご意見も踏まえ、令和7年度は、令和6年度に引き続きペットの避難方法や備蓄品などについて、飼い主の多く集まる場所での普及啓発に努めてまいります。